



Scio(スキオ)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

2023年度 開幕

～新たな学びの幕開け～

厚生労働省は新型コロナウイルス感染症を5月8日から2類相当の扱いから5類への引き下げを明言しました。これにより、患者は外出自粛を求められなくなり、医療費も原則自己負担となるなど、制限が大きく緩和されます。その緩和へと向かう中、本校でも始業式と入学式が無事執り行われ、新入生561名を新たに迎え在籍生徒数1736名の新年度のスタートとなります。新年度を迎えるに先立ち、令和4年度の3年生430名が無事卒業し、そのうち344名が大学や短大・専門学校へ、より深い学びを求めて進学、また、61名が新社会人として県内外への就職等を果たし、それぞれ次のステージに羽ばたいてきました。

新入試制度実施3年目となつた令和5年度大学入試は、昨年度と比較し、全体としては易化しましたが、理科では生物が超難化し、2年ぶりの得点調整が行われました。どの教科も全体として、教科書の分野

にどうわれず、与えられた資料や情報を持続的に読み解く力が求められました。卒業生の多くが、この共通テストに果敢に挑戦し、前年度を上回る結果を出し、国公立大学、私立大学への合格を勝ち取りました。英数科特進コースからは、難関大学であります九州大学医学部医学科、大阪公立大学、英数科英数コースからは慶應義塾大学や青山学院大学、広島大学や長崎大学に現役で合格し、普通科からも東京藝術大学を始め、鹿児島大学への合格を数多く勝ち取りました。一方で、地元で学ぶことを選び、同一学園である鹿児島大学医学部医学科の合格を果輩も、78名にのぼる状況です。悔し涙を流した浪人生も健闘し、鹿児島大学医学部医学科の合格を果たすなど、計269名が大学進学となりました。

彼ら卒業生と同様に、本校在籍の生徒も、進級、入学により、学科学年それに新たな学びが始まっています。3年生は最高学年として、いよいよ就職試験や大学入学試験が始まります。昨年度までなくなり、医療費も原則自己負担となるなど、制限が大きめ緩和されます。その緩和へと向かう中、本校でなく、自CDRのできない状況が一転し、学生時代に何をし、何を得たかを自らの言葉で伝える必要ができます。また、1・2年生は多様化する大学入試でも同様、今後は学生時代の活動が大きく評価される時代になります。コロナからの脱却はいわば、従来の自分からの脱却、新しい自分に向けて彈むようなチャレンジをする良い機会かもしけません。

鹿児島高校で過ごす3年間が、かけがえのない充実した「道」になることを、教員一同心よりお祈りしております。

ラグビーと数学

数学科・大崎 文経



私が数学という教科で「学ぶことができたのは論理的思考力ではないか」と思います。論理的思考とは、「因果関係を整理し順序立てて考へること」あるいは「わかりやすく説明すること」だと思っています。たとえば証明問題です。おそらく、ほとんどの人が苦手意識を持つていると思います。なぜ、証明問題が苦手なのか? 証明問題を解く力は、スタートとゴールをイメージできているかどうかです。間違えた人のほとんどが、一言も書くことができなかつたはずです。少しでも書き始めることができる人は、どういった内容をこの先書いていけばよいのかわかっています。書き始めには、証明終了までをイメージする必要があるからです。これは「因果関係を整理し順序立てて考へること」だと思っています。この部分はラグビーにも同じことが言えます。

ラグビーは試合時間が決まっており、その限られた時間の中で、セットプレーから始まり、ファールやスローインの時に笛が鳴りプレーが止まります。このセットプレーで始まり、笛が鳴るとときに終わるというシーンの繰返しになります。そのシーンの連続中でトライをとることを目的としています。私がラグビーのプレー中に考えていることは、次に笛が鳴るときのことです。スタートとゴールをイメージしながらプレーすることで、ゴールを達成するために何をすればよいのかを考えることができます。

証明問題で「スタート」と「ゴール」のイメージができるたらあと少しです。「わかりやすく説明すること」の部分です。証明問題と計算問題の違いは読み手にあります。いかに相手にわかりやすく書くことができるのか?これをラグビーに当てはめると、15人で勝つために連携を取りながらプレーをするラグビーの場合、証明問題のように相手に分かりやすく伝えが必要があります。スタートとゴールをイメージし、ゴールに向けて逆算していくイメージを持ちます。そうすると判断に迷うことなく、一貫して目標を見失わずにプレー選択することができます。これの繰返しです。ゴールの設定は最高のシナリオではなく、合格点のラインを設定することが大切です。ラグビーはミスが多々あるので、イメージ通りにいくかも紙一重です。そのため「これだけはせめて」というラインでゴールを設定することで試合の流れを崩すことなく進めることができます。ラグビーという「コミュニケーション」ありきのスポーツで大切な力が論理的思考力だと思います。

私自身、数学を学ぶこととラグビーをプレーすることで論理的思考力を身に付けることができたかもしれません。ラグビーをするどこの力を身に付けることができるかもしれません。あなたもラグビーをしてみませんか。

進学指導主任・米澤耕一郎

